10月30日（水） 朝礼のお話し

「運動会」の始まり

先週から今年の運動会の練習が始まりました。そこで、今日は運動会の始まりについてちょっとお話しをしたいと思います。日本で運動会が始まったのはいつ頃だと思いますか？校長先生が子どもの頃にももちろん運動会はありました。校長先生ちょっと調べてみました。

日本の運動会の始まりとされるものは今から140年ほど前の明治時代に行われたとされています。場所は東京の築地。そこにはその頃、軍隊の学校があったそうです。そこにイギリスから来ていた先生がいました。名前はダグラス先生。この先生が、その頃イギリスでやっていたスポーツ大会を日本でもやってみようと呼びかけたことが始まりだそうです。

では140年前の運動会ではどんな種目があったのでしょうか？記録が残っていました。それを見るとこんな具合です。

短距離走 二人三脚 このあたりは今の運動会でも行われる競技ですね。

走り高跳び 走り幅跳び このあたりは今でも体育の授業でやりますね。

ここから先はちょっとおもしろい競技なんですけど・・・

おんぶ競走 目隠し競走 パケツ運び競走 卵拾い競走 なんていうものもありました。地面においた20個の卵を拾いながら走る競走だそうです。卵はともかく、このあたりまでなら今の運動会でもやるかもしれませんね。

そしてとてもおもしろいのが、競技の最後に行われた プタ追い競走 です。これはどんな競技かと言うと、体中に油を塗った子豚を放し、それを時間内に何匹捕まえられるのか競争するという競技です。子豚は逃げ回りますし、捕まえても油がぬってあるのでつるつる滑ってしまい、見ている人達が大笑いしたという楽しい競技だったそうです。どうしてこんな競技が行われたのでしょうかね？

こうして今から140年も前に始まった運動会は明治から昭和の時代にかけて全国の学校に広がりました。この後、日本では全国で運動会がずっと続いているのですが、最初の運動会を日本に伝えてくれたダグラス先生の故郷、イギリスでは今どうなっているのでしょうか？イギリスだけでなく、アメリカやヨーロッパの国では日本のような形の運動会はほとんど行われていないそうです。おもしろいですね。

今日は運動会の始まりについてのお話しをしました。今日もしっかりとお話を聴いてくれて校長先生とても気持ちが良いです。ありがとう。みんなで今週も素敵な1週間にしましょう。